THE WOMAN'S WEEKLY

第三卷第二十一號

大正五年五月廿五日發行（毎週金曜日發行）

大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

目次

□新時代の婦人氣質……小橋三四子
□時事週報……
□先帝陛下の御聖德の一端に就いて……男爵石黒忠悳
□ストラウト女史の忠言……
□街上所見……安倍能成
□應接間の五分間「三宅安子夫人」……民子
□水野葉舟氏の新らしい敎育法……記者
□子供の智慧……
□いろ／＼の社會貧兒等の惠みの園……K子
□胃痙攣の苦しみ……澤田斬雲
□蟻や蚤蚊は今から防げ……大橋廣子
□初夏の着付け……遠藤波津子
□糠味噌をおいしくする法……伊藤いく子
□オハナシ「自然兒」……琴子
□讀者から……
□東京だより「夜店から」……記者
□小說「雜草」……茅野雅子
□新刊紹介……
□時事……編輯室より

定價一部四錢五厘 郵税壹五厘

婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

上品で役に立つ理想的の婦人雑誌

五月號内容でも外觀でも他に類のない雑誌

本月も賣り切れぬ内今スグ御求めあれ

婦人雑誌

既に出來
各書店にあり

□柿の花の咲く頃……宇崎純一畫
□カーネーション（石版彩色）……

口繪寫眞
◎婦人の停き力 ◎新郎新婦 ◎お茶と盆景 ◎青葉の蔭
◎朝露を踏みつゝ ◎樂園午過ぎ ◎おとづれ ◎初夏のおぐし

讀者文藝
◎短文 ◎長詩 ◎和歌 ◎俳句 ◎おとづれ ◎萬年筆 其他

◎婦人と世界的智識……法學博士 蜷川新
◎靜かな樹かげに……文學士 小林愛雄（オッフェンバック曲）
◎美しい女醜い女……文學士 成瀬無極
◎婦人の自立と其の義務……文學士 長諦吉
◎月經と精神の異常……文學士 寺田精一
◎今日の問題……文學士 小林愛雄
◎家庭化學 化學變化の法則……理學博士 藥學博士 長井長義
◎家庭に於ける婦人の地位……法學士 水島三之助
◎停き婦人の任務は……理學博士 山川健次郎
◎三人の弟を學士にした後の樂しみ……三角錫子
◎托兒所を觀る記……きよ子
◎海外特信 學校生活（第六報）……大谷久子
◎書室……スミカズ

婦人と財産問題
▽財産分配の必要と分配方……法學博士 戸田海市
▽婦人と財産の先決問題……法學博士 添田壽一
▽情的婦人財産觀……法學博士 神戸正雄
▽任務の變遷と經濟的獨立……法學博士 山脇玄
▽婦女の財産所有に就いて……文學博士 建部遯吾
▽夫婦を財産上の一單位に……宮田修
▽婦人勢力の消長と財産……文學博士 谷本富
▽經濟的獨立は考へ物……男爵 澁澤榮一

◎上手な張物と屑物の利用法（戸板關子）◎入梅時と衣食住の御注意（若原榮代子）◎入梅時の洗濯法や食物の保存方（吉田若枝）◎家庭菓子の製法（手塚かね子）◎六月の惣菜料理（櫻井ちか子）◎體裁よき輕裝帶の仕立方（たみ子）◎髮の似合不似合（森田玉子）

◎小説 産衣……清水清子
◎彼女の一生……田村俊子

發兌 東京市神田區駿河臺鈴木町 婦人雑誌社 電話本局三一八五番 振替東京三三一六〇番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新時代の婦人氣質

□燭臺と燭臺の火

英國近世の神學者ホープス、ロビンソンの書翰集は、一言一句、敬虔の念の深い人の實驗から出た意味ある言葉で充ちて居りますが、その中の敎へ子に送つた手紙に「燭臺の火が輝いて居る間は、誰れも光りを仰いで燭臺を見る者はない」とて、敎へを說く人自身の名譽が世に謳はれる間は、まだ神の榮光が充分に顯はれて居ないのであるとの戒めを送つて居ります。この言葉はやがて我が新時代の婦人に送るのに最もよい言葉ではありますまいか。

□深窓から街頭に

深窓の下から漸く街頭に出でたる日本婦人は、世間からももの珍らしく迎へられます。自らも名聲を博する事が、唯一の生き甲斐ある道かの如く考へて居ります。そして淺薄な創作を敢へてして、閨秀作家と誇り、甚だしきは、夫の思想、他人の力を賴つても、な任我が名を賣らんことに務めて居ります。口に自由を稱へて放埓に陷り、權利を主張して、義務の觀念乏しく名を好んで、實に就く事を知りませぬ。それ故一見活氣を呈して進步した如く覺ゆる我が婦人界も、よく〳〵其の眞相を見れば、昔よりもな任弊のみ多くなつた感が頻りに致します。

□貴婦人の慈善會

彼れ等婦人は、自己を生かす事が、出來る丈け我を主張する事にあるかの如く考へ、衣服の末に至る迄、孔雀の羽根を擴ろげたやうな誇張した華美を喜びます。近く某慈善會の催しで、所謂貴婦人が一堂に集合されましたが、會の性質上とあつて、申し合せたやうに縞物を身に着けて居りました。然し只縞といふのみで、裾回しにさへ刺繍を施し、指輪はをろか袖口からは金の腕時計が輝やき、胸にはダイヤの襟止めがきら〳〵と光つて居ります。或る人が「千圓以下の扮裝をして居る者は一人も無い」と評して居るのを聞きましたが、確かに一堂の婦人の服裝を金として積んだら、莫大な額に上りませう。國家を患ひて慈善の事に奔走する健氣の志あらば、先づ自らの指輪を捧げ、襟留めを出すが至當のやうに思はれます。然し慈善會も實は一種の社交婦人の流行とならんとしつゝある事が、明らかに見えて、淺間しさを覺えざるを得ませんでした。

□野心を混へた戀愛

思想上に於ける婦人も亦この慈善會の服裝と同樣の傾向を持つて居ります。エレン、カイ女史やシュライナー女史の書物を讀んで、自由解放を曲解した人人は、止むを得ず軌道を外れた行爲に陷るといふよりは、世を驚かさん爲めに、脫線的の行爲を敢へてして、大膽にこれを吹聽し、我が爲す所を知らずして共に婦人問題を語るべからずと揚語して居ります。さりながら其の行爲には何の新し味もなく二千年前の羅馬時代に見る淫逸を再びして居るのに過ぎませぬ。彼れ等は自らの戀愛にさへ名を賣らんとの野心を混へて居る事は、眞に唾棄すべき極みで

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

あります。

□教育の缺陷

かういふ風潮が單に歐米の思潮の惡感染であるとか、遊蕩文學の影響であるとかと、社會にのみ其の責めを負はすべきではなく、學校や家庭に於ても、大に考へなければなりませぬ。殊に學校敎育には、かやうな風潮を作つた大なる缺陷がありはしないでせうか。新らしき思想や小說等を讀むなと嚴禁するのみで、これを正當に理解、批判するやうに指導する事を怠つて居ります。知識に漸う醒めて來た女子に、最もよい糧を與へんとはせずに、徒らに境遇に適應させる事のみを、忙しく注ぎ込んで居ります。それ故物の眞相を摑む深さも聰明さもなく、只學問を裝飾にした人間許りが生れ出るやうになります。

□落着きのある國家

今日迄男子の道德的に廢頽した日本を支へて、其の標準を保たしめたのは、純乎たる女子の生活に依る事が、多かつたのであります。然るに知識才能が其の男子程に啓發されぬ前に、はやくも女子の品性の不純になりつゝ行かうとするのは、いかにも遺憾な極みであります。日本婦人が眞實に進步した曉は、かやうにけば〳〵しい婦人界の影は消えて、もつと底力のある文化が世に敷かれるやうになり、國家にしんみりした落着きが出來て參りませう。さういふ住みよい世界を早く我が國に來らすのを、皆の目標として進みたいものです。（三四子）

時事週評

□明治帝の御聖德　我が日本の中興の祖として仰ぎ奉る明治帝の御聖德の一端を本誌に揭げて、廣く世人に紹介する事が出來るのは、この上ない有難い事であります。萬乘の君は、國民の爲め晝夜絕え間なく、大御心を碎かれましたその心を以て心とすれば、眞に平和ならざる所なく、繁榮せざる事業なしといふべきであります。

□小學校長の滿鮮見學　府下荏原郡の小學校長二十名は、三名の篤志家の出資により、近く滿鮮見學の途に上ると申します。何人の發起で、出資の篤志家は何人なるかは分りませんが、近頃の快擧といふべきであります。戰後の我が國家が一層世界的となり、國民敎育も亦之れに適應しなければならぬと百萬言を繰り返へさるゝより、一と度玄海灘を越えて、滿鮮の風光に接し、國家の興廢の跡を考へ、再生の國の活氣に觸るゝに於ては、必ず多くの活敎訓に接する事が出來ませう。更らに廣つて海外から我が日本を見る時、明瞭に其の長所をも短所をも認めて、今後の進路を定むる上に多大の參考になりませう、獨り荏原郡のみならず、各所にこの種の催しの行はれんことを。

□ストラウト女史の忠言　公娼廢止、男女貞操問題等は、目下の差迫つた日本の問題でありながら、我が同胞の、語るのみでは、人々に深い反省を與へない傾きがあります。偶々外國の友人ストラウト女史によつて、我が國醜業婦が、如何に國辱を鬻ぎつゝあるかを說かれて、我が婦人界に、一つの警鐘を打たれたるは喜ばしい限りであります。殊に愛國婦人會の如き有力なる會合が、態々女史を招いて、其の忠言に耳を傾けられたるに於ては、必ず一般の輿論を喚起する日も近からうと賴もしい事に思はれます。

□葉舟氏の新敎育法　水野葉舟氏が愛孃の敎育に、因襲を破つて大膽な試みをせられて居る有樣は、本誌別項に委しく揭げてあります、勿論一つの試みとして紹介したので、其の批判は見る人々によつて異るべきでありますが、無駄の多い從來の敎育法を改革するのに、親や敎師の參考になる事が多からうと思はれます。何處の親も子女の敎育を一手に引請けんとする敎養と暇と境遇とを持たれんことは無理な注文でありませうが、また學校が唯一の敎場であると思へば間違ひであります。父兄の力が學校に加はり、敎師は常に敎育の改善を企て行くやうになつて初めて少し宛理想に近い敎育が行はれて行くのでせう。今日はなほ家庭も學校も餘り安神し過ぎて居ります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

先帝陛下の御聖德の一端に就きて（上）

男爵　石黑忠悳

□廣島の大本營に侍して

畏くも先帝陛下に奉仕して親しく御聖德を仰いだ自分は、其の一端を語り奉らんとすれば、聲淚共に降つて、常に意を盡すことが出來ません、一言にして御聖德を稱へ奉らうとすれば、恕平たく云へば思ひ遣りといふ事が恐れながら、當つて居るのではなからうかと存じます。この御德は、帝王たる方には最も倣ぶべく、また必要なことでございます私が最も親しく陛下に奉仕したのは、日淸戰爭中、大本營を廣島に移された當時、野戰衞生長官として出張した折でありました。當時運輸長官たりし寺內氏外二人の長官と共に日々の御軍議に、陛下の御前に召し出されたので、常よりは親しく君側に侍る事が出來たのでありました。

□軍裝の儘て明した一夜

陛下が廣島に大纛を移さるゝや、師團司令本部が大本營となり、陛下の御居間は、其處の十五疊と四疊の二間のみでありました、然るに私が宿として導かれたのは、淺野某といふ十五萬石の大名の邸跡とか申すので、數々の間があつて、十五疊二間を初め、副官や多くの隨員が皆這入れる所でありました。私は早速案內の役人に「陛下の事を思へば私はとてもこの家に眠る事は出來ぬ。早々他の宿に變へて貰ひ度い」と云ふと「急には探されぬから、二三日お待ち下さい」と云はれた。然らばと云つて、私は軍裝を解かずに、一夜を明かし翌朝隨員をして宿を求めさせて、溝口とかいふ宿屋の八疊を借りて移り住んだ事でした。

□遠征の士を勞ふ大御心

行在所は十五疊の間を、夜も晝もお用ひになるので、夜は片隅に置かれた寢臺に御寢になります。僅かに屛風一重を隔て、晝の御座所として、テーブルと御椅子三脚を置かれたのみでありました。或る時此處に安樂椅子を持ち込みますと、陛下が「これは何にするものか」との仰せに「御休憩にお用ひ遊ばすやうに」と、申し上げると、「戰地にあるものはどうして居るか」との仰せに、早々運び戾すやうにとの御下命でありました。かくて夏も逝き、秋も過ぎて、師團が雪を戴く眞冬の候となりました陛下の御居間にせめて置きストーブでも据ゑ奉らうと持ち込みました。すると陛下は前と同じく「戰地にあるものはどうして居るか」との仰せに、早速取除かしめ、寒中お火鉢丈けで過させ給ふたのであります。當時陛下には、何れの日も、何れの時も、出征して居る者等の勞苦は如何にとの大御心で一ぱいで居らせられたと拜察する事が出來ます。

□貝殼の盃梅酢の旗

其の後十月に私は戰地視察に向ふ事になりました。廣島を發足する時、シャンパンを一本携へました。途中諸所で所望されましたが、これは出陣中の閑院宮樣に差上げるのだからと大事にして行きました、愈々先方に參つて、宮樣に例のシャンパンを差上げると「一人では惜しいから、桂を呼ばう」とて、三人で味ふ事となりましたが、キルク拔きが無いので、私が血祭り

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

をしませうとて、サーベルでシャンパンの頭を刎ねた程、當時の戰地は不自由でありました。やがて十一月三日に朝鮮のクインポに着き、かの戰後大尉で只一人四等勳章を貰はれた、山縣即題氏の軍營に、行き着きました。そこで天長節を祝はう爲め、十二時を合圖に陛下の萬歳を三唱しやうとて、私に音頭取りを命ぜられ、一同と共に山上に登りました。山上には只酒樽が一つと少しの錫があるのみ、乾盃しやうにも盃がない、そこで八十二の人數丈け海邊の蠣の貝を拾はせて、盃に代へる事に致しました。十二時に今やならうとする時、麓から一人の兵士が息を切つて登つて來ましたが「お待ち下さい此の旗で音頭を取つて下さい」とて、怪しげな日の丸の旗を手渡しました。私はその旗を手にするや否や「陛下萬歳！」と三唱しましたが、後でよく旗を見ると、半紙に梅酢を以て日の丸を畫き、飯粒で棒に付けたものであります。

四 口砂のある朝鮮米

其の年の十二月に廣島に歸つて、陛下に謁見し、復命した序を以て、戰地に天長節を祝つた蠣の貝と、半紙の日の丸の旗を御覽に供すると、陛下には「暫らく置いておけよ」と仰せられ、その後四日計りはお机の上に二品の載つて居るのを見うけました。復命の節陛下から御下問のあつたのは「戰地の食糧は、日本米か朝鮮米か」とのお言葉であつたので、私は職掌柄委しく調べ參りましたから、一々どの地は何といふ事を申し上げると、「朝鮮米は砂を混ぜるといふが、朝鮮米計り食べて居る兵士は、胃を痛めはせぬか、齒を痛めはせぬか」、との御言葉でありました。當時は專門家は別として、朝鮮米に砂が混へてある等といふ事を知つて居る者が下下にも幾人ありましたでせう。一天萬乘の君は、畏こけれど實に親心を以て、この一些事にも通じさせ給ふたのであります、そこで私は底に渦が掘つてある米研ぎ鉢の底丈け携へたのを取出して、御覽に入れ、砂は米をよなげる際に、この渦に澱む旨を申し上げると、「さうか」と御安神の模樣に拜しました。

（東京府慈善協會第一回大會に於て）

―ストラウト女史の忠言―

十年前萬國基督敎婦人矯風會の特派員として、我が國に派遣され、二年有半にして緬甸に送られて以來七年を同地に過したストラウト女史は、歸米の途次本邦に立寄られ、諸所に熱辯を振つて、日本に忠言を呈して居られます。過ぐる廿一日は愛國婦人會の本部樓上に於て、役員及び有志の方々に一場の講演を試られました。一節に曰く「緬甸人は日本の婦人を口にしません、彼等には唯不道徳な汚ない人として口にするのも汚れださいふ程なのです。私は日本の政府に交渉して、本國に返し、憐みを以て彼等を救つたらよからうさ申しましたが、彼等は金を儲けて日本に歸れば、立派に結婚が出來る程、日本の國は汚れて不道德であるから、夫れは無駄な事であるさ、緬甸の人は答へました」さ。

街上所見

安倍能成

＊＊＊

或る晩神田の或るカフエーでコーヒを飲んで居た時、五六歳になる一人の男の子が、一つの箱を持つてそこへはひつて來た。店の者がそれを推し出さうとすると子供はそこへしやがんで大きな聲を上げて泣き出した。かういふことには度々慣れて居ると見えて、だにの樣にそこへへばりついて、大人の力でも中々動かない、そして益々聞えよがしに大きな叫聲を發するので、店の者も殆ど持て餘して手の著け樣に困つて居た。そこにやつぱりコーヒを飲んで居た一人の西洋人は、その時その子供の傍へ行つて、片言交りの日本語で、お父さんはあるかとか、家は何處かとか尋ねた末、その子供の持つて居る樟腦の値段などをきいて居た。自分はこの事の結末を見ずに、そのままそのカフエーを去つた。しかしその時のことはやつぱり自分の心の中に消す可からざる印象として殘つて居る。かかる事件は事件としては、我々が日常街上で遭遇する所のものであつて珍しいことではない。しかしその中には樣々の考ふべきこと、又考ふべきことに止まらずして何とか實行上の解決を要すべきことが含まれて居る。

子供が首に商品をかけてそこへはひつて來た時、自分は先づまだ學齡にも達しないこの子が、自由に遊ぶことも出來ず、かうした職業をせねばならぬことを思つて可哀想に思つた。店の者につまみ出されうとした時には、益々その可哀想な心持が度を增して來た。然し暫く見て居る内に、子供の如何にもかかることに慣れた樣な、それを豫期して居る樣なずうずうしさを感じ、又彼の發する泣聲が、自分の感情の發表といふよりも、一種の誇張されたる手段の樣に感ぜられた時、先の哀みは又惡みに轉じかけて來た。しかし其時店の者が「誰か外に居るのだ」といふのを聞いた時、子供に對する嫌惡は又憐憫に歸つて來た。それと同時に憫むべき無邪氣なるべき子供に、かくの如き仕事を强ひ、かかる手段を用ゐることを餘儀なくせしめるその隱れたる大人を惡まざるを得なかつた。けれども更に立入つて考へれば、子供をこんな境遇に陷れたものは、單にその隱れたる大人の業だけではない。その大人をしてそこに至らしめた樣樣の社會的原因がなければならない。街上の一瑣末事も偶にこれを哀れむわけにも、惡むわけにも、行かない。冷靜なる哲學者のスピノーザがいつた樣にこれを理解しなければならない。

＊＊＊

しかしこれを理解するは直にこれを解決する所以ではない。子供を憫れと思ふ感情のままにその一品二品を買つてやることは、その刹那に於て最も子供を喜ばせ、自分を滿足せしめる行爲であらう。それと同時にその隱れたる大人の目的とする所に最も適ふ行動である。しかしそれが眞に子供を救ふ所以であるかどうかは分らない。否恐らくそれは益々子供を墮落させる道であるらしい。よしそれが子供を救ふ道であるとしても、この子供に對しその行爲を二度し三度し、十度し百度することは果して出來るだらうか。天下のかゝる子供の各々に之れを百度千度するだけの忍耐が果して我々に

五

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

あり得るだらうか。しからば子供の爲に一時の情を忍んで買取つてやらないのがよいか、それが果して子供をよくするか。その結果その子供が大人に叱られ、打たれ、蹴られ、食を減らされ、外にほり出されたらどうするか。子供はそれによつて果してより善くなるであらうか。思ふに根本の解決は子供をかかる境遇より引離して、教育をし直すより外はない。然しこれは畢竟不可能事である。路傍の人としてよく彼の爲に一掬の涙を惜まない自分が、一家の人として自分の子と平等に彼を愛し得ないだらうことは、それを實驗して見ることを徒勞と思はしめる位である。

六

＊＊＊

畢竟この子供をどうしたらよいかといふことは、解決せられない。自分は一人の子供に對しても實に無力を感ぜざるを得なかつた。

＊＊＊

最後の解決は社會的問題として團體的事業に遺される。しかし團體的行爲には個人間に於ける如き惡みがないと同時に又愛がない。そこには個人個人の運命に對する無頓著がある。この弊を救ふものは宗教であらう。宗教的の愛、人間に對する愛であらう。けれども又かくの如き愛は團體の中からは生れない。その源には偉大なる個人の愛がなければならない。團體的事業は個人の厄介物を受ける芥捨場ではないのだから。

自分は此處まで考へたが、自分自身のエゴイズムに對する不安と、自己の無力の感じとはそれによつて救はれなかつた。

（日記より）

應接間の五分間

其の四　三宅安子夫人

▲三宅理學博士夫人安子さまをお訪ねしたのは、大氣の中に初夏の氣の漂ふ眞晝であつた。夫人は故夏目漱石氏の門弟の閨秀作家である。去年から、その流麗な筆はちよい〳〵婦人雜誌にお見せになつてゐる。

『お子樣が少しお惡くてゐらつしやいますので、ほんの一寸ならお目にかゝりますが、でなくば二三日してからにお願ひ致したいと仰有います』と、愛くるしい顔をした若い女中が、謹ましやかに兩手をついて言ふ。私は一寸でいゝからとお願ひして應接室に通る。

▲夫人は、丈の高い、色の白い方である二十九か卅かとも思はれるけれど、或はもう一つ二つお若いかも知れない。地味な銘仙の袷を召してゐた。そして、白つぽいセルの前掛を帯の間にはさませてゐらつしやる。

『夏目先生には昨年の正月から御批評を願つてゐましたけれど、突然あゝした御不幸がございましたので、その後は、まだ、誰方にもお願ひはして居りません、夏目先生の奥樣は、小宮豐隆さんが宜らう、と仰有つて下さいますが、之れもまだ、私がお願ひに出て居りませんので、如何なりますか、小宮さんはお宅もお近いし、お願ひが出來ますなら何かと私には都合が宜しいのですけれど、何しろ、私はまだお乳を與へてゐる子供がゐますので、途中の二時間も三時間も要る所だと夫れだけで駄目になりますので』と言つて母親らしい優しさを、美しい眼の中に輝かしてゐらつしやる。夫人は三人のお子樣のお母さまである。中のお子樣を一人お亡くしなすつてからは、お子樣が一寸御病氣でも直ぐ死の恐怖に襲はれて身慄ひをなさるさうか。

『私は小さい時から書くことが好きで、よく金港堂から出てゐた少女界に投書致したものでございます。水野仙子樣達と同じ頃でございました。でもあの方達は早くから文章世界へ移つて文壇へお乘り出しになり、私は一人、かうしてぐづ〳〵して居ります。』とお附け添へになる。言ひ得ず。聰明な感じを與へる方である。お琴の音さへお嫌ひださうだと聞く博士のお側で靜かに筆をとり得る夫人はこの方であればこそと言ふやうにも思はれた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

水野葉舟氏の 新らしい教育法

教師は氏の令妹

＊＊

水野葉舟氏の御家庭では、お二人ある女のお子様を小學校へも、女學校へも入れずして、あらゆる教育を偏へに家庭でのみなすつて居ると言ふことを久しい前から傳へ聞いてゐた。そして其の結果も、今のところは、所謂學校での學問でなく、自分の人格修養の爲めの學問となり且つ、素直に、その芽ぐみそめた芽が生ひ行くらしい影が見える、と言ふ歡ばしい噂さも聞いてゐた。之れは直ちに成長の歡びでなくてはならない。私はキラキラと眩しく太陽の光る午後、府下平塚村のお宅を訪れていろいろの御經驗をうかゞふ。

＊＊

櫻木行きの電車を大井で下車し、うねうねと走る田舎道を奥の方へ行つた所の竹藪につゞく麥畑の中の洋館が夫れであつた。出揃つた麥の穗は咽ぶやうな香の中に光つてゐる。向ふの田の畔には、ころころと蛙がのどを鳴らしてゐた。田舎の晝はうす眠いやうに靜かである。教育の主任に當つて居られる令妹のきく子様は、日當りの好い明るい室で物語られた。

『之れを初めましたのは、一昨年姉（葉舟氏夫人）が亡つたことから、その端緒を開きました。夫れまでは子供達のことは一切姉に任せてありまして、兄は殆ど干渉いたしませんでした。所が不意に姉の不幸に會ひ、兄は多くの子供を男の手一つに殘されたので、今更らに子供の上に眼を開き深く考へ込んだのでございます。そして第一に考へたのが、女の子が女學校を卒業する迄に十年と云ふ年月を要すると言ふことでした。その上十七八で卒業しても、人生に對しては殆ど無批評の狀態であると言ふことでした。兄が思ひますには、西洋にはいろいろの教育法があつて中には天才教育など丶言ふものは、十幾歳で大學を卒業し、博士にもなるのださうな。また其樣なものではなく、小說などを見ると、十五六歳にもなれば、十分人生に對する定見を持ち、批評しつゝ自分のとるべき途を猛進してゐるやうに見える。それでありながら、彼等は非常に無邪氣であるやうに思はれる。どうか私も、自分の子供をあゝした風に育て上げたい、と大勇猛心を奮起して試み初めたのが、その源でございます。ですから、私共の家は姉が亡ると同時に、今迄その生活中心になつてゐた夫婦といふものが影を隱して、その代りに子供が現はれ、あらゆる生活上に子供が中心になるやうになりました。そして家庭が直ちに彼女等の學校となるやうになつたのでございます。

＊＊

『姉の方は今年十三歳になり、妹の方は八つになります。妹の方は少しも學校と云ふものを知らずに育つたので、早く私達のしやうとすることに馴染みましたが、姉の方は暫く學校へいつてゐました爲めに、可成り長い間學校の癖がついてゐて弱りました。でも私達が八ケ釜しく言つて罵倒するので、以前から負けず嫌ひの子であつた爲めに、隨分自分に努力したものと見えて割合に早くその習慣がぬけました。姉の方の學科は、國語、地理、植物、作文、算術、習字、英語、裁縫、體操、家事の十科目で、植物と算術との二科目は兄が、他は悉く私が受持つてゐます。裁縫、家事、

七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

習字など、言ふものは、毎日家庭に起る事項を捕へて敎へたり工夫させたりしてゐます。殊に家事の一つである料理などは、獻立だけを與へてすべてをまかせ、そして監督して敎へてゐますが、大抵のものなら大膽にやつてのけます。作文は毎日自分の好きなものを題にして書いてゐます。八つになる妹の方は國語、作文、習字、英語、算術裁縫、ローマ字、體操の八科目でございますが、すべて敎へ方は姉と同樣です。そしてこの他に、彼女等は二人とも毎日缺かさず日記をつけることになつてゐます。 妹の方は八つとは言へ滿六歲と九ケ月にしかなりませんが英語も可成り進んでゐてお勝手で時には字引を引きながらでも、頻りに英語でお話をしてゐます。聞いてゐると隨分おもしろうございます。漢字は今二百六十三知つてゐます。その中の字なら何時でも書くことが出來ます。 私はこの二人の學科を受持つてからは暫くも呆然することが出來ず。何時もその事のみが心の奥に密んでゐて彼女等の上を見守つてゐるやうに思はれます。

＊＊

『姉の方は大柄なので十五六位に見えますけれど、家内の人以外には殆ど友人を持ちません爲めか、夫れは無邪氣なものでございます。どうかすると屋根の上の涼しい所に昇つて本を讀んだりなどしてゐます。そして何處かへ連れていくと見るもの毎に質問致します。この間奠都博覽會に參りましたら、京都から東京までの宿々の產物があつたのに鉛筆を忘れて筆記することが出來なかつたから、もう一度行くなど、言つてゐました。』などゝ仰有るのであつた。其處には注ぎ込まれるので、止むなく學ぶと言ふ學校敎育でなく、自分の心からの要求として湧き上る學ばふとするその美しい態度が見える。この心があらゆる人に植ゑ付けらるべく願つて學校へゆき、殆ど植ゑつけられずして終るものである。氏の家ではよく出來ると、徒らに賞讚の言葉はお與へにならないさうな。讚めるとその次ぎには必ず不出來でいけないと仰有つてゐる。故に友人もないその人達は他に比較するもの、ない爲めにまだ〳〵と言ふ心から懸命で勉强なさるとか、八歲になる方の作文の中に、題は『モクベイ』として

『うちの犬は「モクベイ」と言ふ。「モクベイ」の毛は黑である「モクベイ」は去年からゐる。彼れは時々喧嘩をする。此の頃はずゐぶん悧巧になりました。』と言ふ一文があつた。遺傳的と言へば言はれやうけれど、八つの人の觀察としては、可成り深いと思はれる。之れもこの特殊の敎育法によるのではないかと思ふ。 私は如何なる敎育法が宜いか夫れを知らないが、新らしい試みの一つとして記す。きく子樣は最後に『或る人が自分達の自由にある人を斯う敎育しやう、など、言ふことは、或は間違つてゐる事かも知れません。しかし最も愛すれば最も宜い方法と言ふものをとつて見るのも惡いことではないかと思ひますけれど、たゞ一つ困るのは、自分達が斯うしやうと思つても、その通りにすべてがなると限らないとでございます。』と仰有るのであつた。水野氏はこの敎育の爲に、小學文集と言ふ二卷の本を著されてさへゐる。(民子)

八

子供の智慧

□男のやうだ

八重子ちやん(五才)は、亂暴するさ母さんが「何んだれ、男のやうぢやないか」さお叱りになるのが常でした。或る時父さんが一寸手荒いことをなさるさ「父さん、男のやうですれ」さたしなめ顏です。

□金魚と山羊の交換

次郎さん(八つ)は或る牧場で可愛い〻山羊を見て來て、頻りに忘れられない樣子で噂をして居りました。そしてどうかして手に入れたいさ思つたのでせう「宅の金魚さ取換えてくれゝばよいのに」さ申しました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いろ〱の社會（七）

貧兒等の恵みの園

新らしく出來た二葉保育園分園

▲新宿の市内電車の停留所の側の交番へいつて、『二葉保育園の新宿分園は何方でせうか。』の巡査さんに訊ねると、

『あゝ、野口先生の幼稚園でせう。あれは此の通りを、』と左へ曲る大通を指差し、『この通りを眞直ぐに行つて橋を渡り、矢張りずん〱眞直ぐに行くと天龍寺と言ふお寺の手前の右側にあります。』と親切に敎へて呉れる。全くその敎へられた通りの路を行くと、木賃宿の軒を並べたうすらきたない町の中に、白木の木造作りの二階建の建物が聳えてゐた。それが、その幼稚園である。

▲この幼稚園は四ッ谷鮫ヶ橋の二葉幼稚園の分園で、貧民の子弟に心の光りを輝かせやうとて學習院の幼稚部の主任野口幽香子女史が發起人となつて、同志の人の贊助のもとに經營してゐられる。總建坪百六十三、廣い庭と五つの花壇と、幾つかのブランコと盛砂とがある。花壇には紫や赤や黄に美しい花が咲いて居り、盛砂の中では子供が此處ばかりでは大びらに砂遊戲をして遊んでゐる。園兒は總計百三十名、それが四人の親切な保姆のもとに遊んでゐる。一匹の愛らしい仔犬も居るが、朝から晩まで、百三十人の御主人の生きた玩具になつて廣いお庭を轉り廻つて忠實に仕へてゐる。何れはもう一人保姆を增して百五十人の幼兒を收容したいとのことであつた。

▲此處の園兒は毎日一錢づゝ持つて來る以外に月謝はない。その一錢は、五厘を午後のおやつに殘りの五厘は貯金にする。子供の父親は多く日傭ひ、母親は拾ひやと言つて脊に籠を負つて家々の塵捨て場をあさり歩き、落ちてゐるぼろ切れや紙などを拾ふのを商賣にしてゐるので初めの間は貯金などゝ言ふものは更らに趣味を持たず、その上、返して貰へるかどうかをさへ疑つてゐたとか、夫れを今年の第一回の卒業生が卒業する時に、みんな四五十錢の積つてゐた貯金を貰つて歸つたのを見てからは三錢五錢と貯金をする子供が出來るやうになつたと言ふ。子供は大抵太つた血色も宜い、丈夫さうなものばかりで、其日に困まる貧民窟から來るものとも思はれない。

▲この幼稚園は去年の十二月の初旬に開かれ、朝の九時から午後の四時まで生徒がゐる。すべての授業は他の夫れと多くの相違はないけれど、たゞ宗敎の上に立つてゐるので朝の九時になると皆が齊列して運動場に集り朝のお祈りをし讃美歌を歌ふと言ふ。そして午後は袋貼りをする。その袋は百枚五厘位ゐで賣り、そのお金は貯金にして置いて卒業した時上野の動物園を見に行く費用にするのださうな。毎週土曜日に生徒一同を順々に風呂に入れて石鹼をつけて磨いてやられる。磨いて垢を落して見ると別人のやうに淸らかになる。斯うした事も此處の特色であらう。遊戲をするのに、

『お花よ〱あなたは何うして咲いてゐます。
私は天の神樣が、こんなに奇麗に咲せ、して下さいました。
きれい、きれい、きれい、神樣ありがたう、優しい神樣。』

と彼等はあどけない顏をして此樣な歌を歌つてゐた。（K子）

※ ※ ※ ※ ※

九

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

胃痙攣の苦み

薄田斬雲

口始めて經驗した胃痛

私は久しく胃痛といふものを感じなかつたのです。少時果物を生噛みに食うて痙攣の頓痛を覺えた事はあるが堪らなく胃痛を感じた例は殆んど無かつたのです。處が、先達て胃痙攣に罹つて可なり苦しい目を見ました。原因は朝臥床を脱ける際、腹部を例ならず餘計に冷たい風に晒らした爲めかと思ひます。朝飯後九時十時から、そろ〳〵胃に痛みを感じ、午後二時頃には、大分ひどくなるから、外出先から歸つて來て火鉢の傍に横になつて居ました。三時頃になると、起きて居られず、臥床を伸べて臥たのです。處が愈よ痛み出して身體の置き處がありません。蒟蒻を茹で胃部に當て、じり〳〵する程に温めて見たが、少しも効果がありません。何か胃に不消化物が滯つて居るかと思ふて、湯を飲んで指を口へ突つ込み、無理に吐き出したか、飲んだ湯が出るばかりで、一時間隔て、も一度吐いて見たが、水が出るばかりです、そして痛みは少しも減じません。意氣地もなく涙さへ宿る程痛いのです。

口內臟の病は體を衰らす

此の如く痛む事二時間、六時頃お醫者さんが來た時には、とろりと眠つた氣味で、胃の痛みが餘程減じて居ました。醫師は注射藥を用意して來たが注射はせずに濟みました。夫れきり後は何んともなく治つたのですが、翌日は身體がふら〳〵して一週間餘も病床に就いた人のやうに元氣が無いのです。つまり胃病に抵抗せんが爲めに全身の筋肉も神經も全力で活動したのでせう。其爲めに唯だ二時間の胃痛が、體力を甚だしく消耗させたのです。健全で終日勞役するよりも、病的苦痛の二時間は、餘計に身體を疲勞させるのです。盲腸炎に罹ると腰が拔けると言ひますが、疼痛の爲めに甚だしく身體を疲勞させ、骨の髓迄が力を失ふのでせう。外傷よりは內臟の病は餘計に身體を衰弱させるのです。肋膜炎に罹つても無理な力仕事をして外傷的に來るのは治し易く內存的に來るのは難治だと言ひます。

口胃痛の素人療法

其後、又、腹部が冷えた爲めに、感冒性の腸胃かたるに罹りました。此時は、痛みはないが嘔吐の氣が甚だしく、空腹で居るのに、吐くのです。嘔氣の爲めに胸苦しくて終夜眠る事さへ出來ません。で、うんと水を飲んで、指を口へ差入れて、無理に吐いたら、苦がい黃色い水が五勺ばかり吐き出され、夫れきり、さつぱりと好い氣持になり熟睡が出來、快癒しました。原因は共に胃腸の冷部から來たのです、三度目に又同じ兆候が來た時、早速懷爐を付けて居たら無事でした。私は今度始めて懷爐を用ゐて、其の効能を深く感じたのです。何んでも「胃腸の具合が變だ」「底痛い様な」「寒氣がする様な」と感じた時は、懷爐なり、蒟蒻なりで温めるのが素人療治として一番好いと或る老人の實見談も聞きました。

大島バタ通信販賣

東京灣三十里の東にある空氣清新、四季緑草をもて覆れたる天與の牧場地伊豆の大島に産せる純眞、風味卓逸、心地よき黃金色の最上バタを試みられよ

定價 半斤 金五十五錢 壹斤 金壹圓

東京銀座二ノ十二紀伊國橋
佐野商會
電話京橋一四四番
振替東京三四九六二番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

蠅や蚤蚊は

今から防げ

大橋廣子

口蛆の時代に

これから暑くなるに連れて、五月蠅く飛んで來る、家蠅の發生の場所は、主に芥溜や、便所の内ですから、今から注意して成虫となつて飛び出さない中に早く驅除する事が必要です。其の方法は種々ありますが最も手近い然も有効のものは、幼虫即ち蛆の時代にこれを除くと云ふことです。蠅が芥溜の中の有機物に産卵してから、成虫になる迄には七日乃至十日を要します。そして其の間は非常に弱いものでありますから、幼虫が見えましたらば直ちに熱湯を注ぎかけますと忽ち死んで終ひます。然し一方には魚肉類は成る可く芥溜に棄てないで、地中に埋め、よく芥溜を掃除しては、きちんと蓋をして、蠅に産卵の場所を與へないやうにするのです。

口成虫と成つた上は

一旦成虫となつて飛び出したものは、ホルマリンを牛乳に混ぜて、これを皿に盛つて置きますと蠅は其の香を慕つて飛び込んでは死んで終ひます。夜天井に止つて居る蠅は、石油を茶碗に入れて一寸下から被ぶせると石油の中に落ちて死んでしまひます。其の他從來の蠅取器なども割合に効果がありますからお用になるのも宜しうございませう。便所は古くから致して居りますやうに、一々蓋をするのは蠅の交通を防いでよろしいがデシンペクトンを絶えまなく撒て置くのも宜しうございます。

口孑孑の征伐

蚊も幼虫の時に驅除するに限りますが、孑孑が蚊になるのですから、もし周圍の溝に孑孑を見出したらば水面に少量の石油を注ぎますと、幼虫が水面に表れて呼吸を致します時に、石油の爲に空氣を切斷れて居りますから、嫌でも死んで終ひます。石油の代りに重油を用ひてもよろしい、一層根本的の方法としては水通をよくして、水溜りを作らない事、天水桶等には必らず蓋をして置くことが必要です

口蚊遣りの法

印度マライ方面では、蚊の襲來を防ぐ爲めに、凡て家屋が二重戸になつて居ると申しますが、日本の家の構造は縁に蚊帳を以て防ぐ位ひに止まつて居りますので、全然防禦する事は出來ませんから、矢張り蚊遣りたたくより外に仕方はありません。蚊遣は餘程具くたきましても蚊を殺す力は少くて、一時麻醉させるに止まつて居りますゆへ、疊の上に落ちた蚊は、掃き集めて蘇生しない迄に殺して置かなければなりません。

口蚤の驅除法

蚤は衛生掃除の際疊の下に新聞紙を敷いて、ナフタリンを撒いて置くのが有効です。これは産卵後四週間乃至六週間目に成虫となるもので、疊の敷目、押入れの隅、狭くその間等は最もいゝ住居なのです。然しこれは蠅や蚊のやうに人の目に觸れる處に産卵致しませんから、驅除に困難でありますが、石油と石鹸水を等分に溶したもの、或はナフタリンを石油に溶し、等分の石鹸水を加へたものを疊の敷目等に撒くと幾分其の發生を防ぐ事が出來ます。西洋間でしたらば絨氈を日光消毒するのが一番よろしうございます。百二十度位ひの外氣の暑さならば忽ち殺すことが出來ます。總て此等の驅除は一家庭で致した處で充分の効果は納め得られるものではありませんから、是非近隣の家庭が協力して實行して頂き度いとぞんじます。

十一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

初夏の着付け

仕立の上の注意

□薄着は格好が取難い

今迄は厚い着物で着にくかつたがこれから段々薄着になるから、格好がよく取れるだらうと被仰いますが、却つて薄着になるに従つて身體の形が其のまゝに見えて參ゐりますから、隨分格好を取るのに骨を折る事がございます。お召をきちんと致しますには襦袢の着方が肝心で、衿元等がぶく〳〵して居りましたら氣持ちよく着物を着る事は出來ません。然し普通少し衣紋を作りますと、襦袢の衿は胸の半で終つて終ひますから、心で二三寸宛延して置いて充分に合せ上に確りだて巻きをして置きます。よく長襦袢を特別に長くお作りになる方がございますが長くても踵一ぱい位ゐに止めて置きませんと、召しにくゝもあり、非常に着潰れが致します。

□下締め

着物もお召になる方の背によりますが、下紐を上に締めますのは具合がよくはありません。骨盤の上にきちんと締めますれば決して紐が弛む心配はありませんが薄着になるに從つて着物はずれ安うございますから、心なしのめりんすの紐で一度確りと結んで其の上に縮緬等の腰紐をざつと締めて置きます。平常も紐を上に締めつけて居る方は斯うしてから更に一本上の上にお締になるのも宜しうございますが、背の高い方には着丈が短くなりますから出來ないかも知れません。そして襟は幾分抜き衣紋にし、胸は襦袢にならつて重れ、あがきが充分につく位ゐに合せて巾の廣いだて巻きを巻きます。其の時に若い方は後に肩上げと反對の皺を左右から寄せ、年取つた方は兩脇に皺をかくします。

□帯の締め方

帯はだて巻きの上に軽く締めるばかりにして、一廻り廻しましたらば、かけを右の脇腹の邊まで出し、二巻き目はかけの上を巻くやうにしながら後でかけの本の方を一寸弛めて帯を靜かに皺にならないやうに締めて參ゐります。生き模様や飛び模様のものでしたらば、全體抜き出さなくて輪に引き出せば決して模様が逆になるやうの事はございません。帯揚げを致します時には、脱脂綿を細く巻いて其の上を布で包んだ小枕を作つてこれを帯と背中の間に挾み、帯の輪がきちんと合ふやうに注意しながら帯揚げを致します。帯揚は成る丈け柔いのを擇んで帯がしなやかに曲るやうに致しませんと隨分見苦しいものです。

□太つた人と痩せた人

非常にお肥えになつて居る方は着物の柄の出來るだけ細いのを擇び（絹、縞物ならば尚ほ宜しい）身巾やゆきも充分に廣く仕立てたのを着、胸などが特にぶく〳〵になる方は着付の時に、肌襦袢の上からガーゼで胸から脇の下をすつか

問と答

十二

問　夏になると兎角髪が臭くなりますので、第一自分にも不快ですし、電車などに乘つた場合にも、人様にお氣の毒でなりませんが、髪の臭みを簡單に消す方法は有りますまいか。（巣鴨　愛讀婦人）

答　それには、出來得る限り屢々髪を洗ふことが肝腎です。あまり刺戟性の石鹸なぞを用ひないで、クラブ洗粉で垢や埃をさらりと洗ひ落して了ふのです。洗つて後は散らし髪にして、餘り強くない日光を受けるやうにして、それからクラブ香油のやうな上等の髪油を、少し附けるのが一番宜敷い。クラブキニーネ香水を頭の生地に擦り込むのも、雲脂を防ぎ頭を涼しくし、且つ爽かな香りを添へて快感を與へるに、最も有効な方法です。

問　クラブ美身クリームを白粉下として使ふには、何うすればよろしいか、お伺ひ申します。（上州新婚の妻）

答　先づクラブ洗粉でよくお洗ひになつてから、クラブ美身クリームを指先に取つてよ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

り巻きます。そして着物を長目に、おはしょりは充分お尻をかくす樣に致しますと腰が細く見えます。反對に瘦て居る方は胸や背中が凹みますからこれをかくす爲めに矢張り襦袢の上からガーゼで巻きます。背の低い方は袖丈を普通よりも短かく、帶巾も狹くして着付けますと格好がよくなります。(遠藤波津子談)

家庭料理の改良(二)

糠味噌を おいしくする法

伊藤いく子

伊藤家は徳川時代から、加賀樣に出入して植木職を勤めて居られ先代から茶道に委しい粋人の家族です。家庭料理は特に心を用ひらるゝ處で、本誌に號を追ふて、漬物類の話をして下さる筈です。

□攪き回す程よし

これから追々新漬けの時期になりますが、新茶の出端に甘しい漬物の二種三種を上せたばかりの淡白した食卓も却つて趣きあるものとぞんじます。凡て料理は手加減一つにありますが、殊更ら漬物は糠味噌の手入れ一つで、味を出すものです。それで三度は勿論、又新らしく漬ける時にも上から下まですつかり糠を攪き廻して、上を平らに手の掌で抑へ、塵埃の這入らないやうに蓋をして置きます。

□糠味噌の手入

初めて糠味噌を作るには、糠一升につき、水を一升、鹽一合、醴酒五勺の割合にして、先づ糠をすつかり灼り、水は一旦沸騰させて其の中に鹽を入れ、この鹽湯で前の糠を溶きます。そして醴酒を加へて一週間ばかり置きますと糠がよくなれますから野菜を漬け初めます。尤も其の間に時々攪き廻して置かなければなりません。尚ほ殺菌の爲めと一方漬物に辛味を持たせる爲め舊生姜、唐辛子、大蒜を少しづゝ桶の底に入れて置きます。殊に大蒜は出汁が出て糠味噌の味ひをよく致します。尚ほ一層お甘しく致しますには、鹽鮭の頭をこんがりと燒いて(都合によつては燒かなくてもよろしい)入れば一番お甘しくなりますがうつかりして居ると腐敗させますから、鰹節を二本ばかり差し込んで置くのが安全でございます。糠がすこし弛んで來ましたら、桶の片隅に笊を差して置いて水を取ります。葉物などを漬けた時には、出します前に、一寸其の笊の中で洗つて出し、笊は時々上げて溜り水を捨て、奇麗に掃除してはまた差して置きます。足し糠を致す時にも出來る丈け灼り糠を用ひます

□日蔭の椽の下に

よく糠味噌は瓶につけるのがいゝとお仰つる方がありますが私共の經驗では桶に限ると思ひます。昔からやり來つて居る事ですが、日蔭の椽の下に穴を掘て、桶の三分一程を地中に埋めて置きますと、滅多に腐敗するやうの事はありません。昨今ならば、山蕗や筍の柔かい處を一寸茹でゝ漬けるのもよろしうございませう。

く塗込み、柔かいタオルの類で輕く拭取り、其上にクラブの粉白粉なり刷白粉なりをお附になれば、高尚で床しく美しいお化粧が出來上ります。

問 若葉の頃になりますと、毎年私は面皰が盛んに出來て困るのですが、適當な手當法があらば御教示に預りたいと存じます。(盛岡 清水いち子)

答 面皰の盛んに出來るのは若い男女に多く、殊に黴菌の爲す業ですから、充分手當をするに越した事はありませんが、外國製の面皰藥もありますが概して硫黃が交つて居ますので、體質の異る日本人には却つて害になる場合がありますす。試みに脂肪の多い婦人が硫黃氣のある溫泉に入ると、皮脂腺は直に硬化して黒くなり、押しても搔いても容易に除れぬ面皰となる例も尠くないのです。それ故平常注意して、日に二度位クラブ洗粉を使つて微溫湯で顏を洗、其後へクラブ美身乳液又はクラブ美身ゼリーを塗込でおく樣になさるのが、一番安全です。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自然兒（一）

山間の家（上）

琴子

小さいデビッドの家は、ずつと高い山の上の一軒家でした。

うしろは山で、家の前には、松の木や、樅の木の青々した森が、すぐ目の下に見えてゐます。山の下は廣い野原で、遠くの方には、デビッドの大好きな、「銀の池」が小さく光つて居ます、又細い川も白いリボンのやうに見えて居ます。そして、その廣い野原の先の方には、紫や、水色や、淡墨色をした高い山が、いくつも、いくつも重り合つて、天までもとゞきさうに見えて居ます。

デビッドの家から、山を下りて行つた谷の方に小さく見えて居る屋根のほかには、近所に一軒も家はありません。

デビッドは此處にお父さんと二人きりで、住んで居るのです。

丁度、夏の初めでした。白くぬつたデビッドの家は日でキラキラまぶしいやうに光つて居ます。家の中はしんとして、時々臺所の方から、ジユウジユウ肉を燒く音や、油のはねる音がきこえてゐるきりです。

やがて、ジユウジユウ言ふ音がしなくなつたと思ふと、やさしい、黒い目をしたデビッドが大きい部屋の入口に出て來ました。きれいな女の子のやうな指をした手を戸にかけて

「とうさん！」と言ひました。父さんはゐないのか、部屋から何にも答がありませんので「父さん、居るの？」と少し大きい聲を出しました。

すると部屋の隅の方で、ムクムク人の動くけはいがしました。

デビッドは急いでその方へ行きました。

デビッドは年の割に脊の高い、耳の邊に縮れ毛のある、頬のまつ赤な丈夫さうな兒です。

「父さん、ごはん！僕一人でつかりこしらへたの！早く行きませう、さめるから。」

父さんはデビッドに助けられてやつと立ちましたが、大層弱つて居ました。

二人は臺所でお膳に向ひました。デビッドが御はんの支度をしたのは初めてでしたから、生憎何にもかも半煮へでした。

「僕のこしらへたのおいしくないや、ねえ父さん。僕今度上手にしますよ」

デビッドは氣の毒さうに、笑ひながら、父さんの顏をのぞき込んで言ひました。

父さんはだまつて、たゞ笑つてたべて居ました。

其内に御はんがすむと、デビッドは急いでかたづけて外へ出ました。

外は入日でまつ赤でした。大嵐でもなければ、決してデビッドはあの大好きな「銀の池」や、遠くの山を見ないで寢る事はありません。

「とうさん、金！金！今晩は金

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

色です」といひながら、如何にもうれしさうに家へ飛んで這入つて、やがてヴアイオリンをあごにあてゝ出て來ました。

「僕、彈くの」と小さい聲でいゝながら靜かに彈出しました。

じつと、きいて居ますと、だんだん變つて行く山の色や、池の色や、空に浮いて居る船のやうな雲や、目に見えるやうな氣がして來ます。

デビッドは幼い時から、自分の思つて居る事や、見た事や、きいた事、何でも彈く事の出來るやうに敎へられたのでした。

今までぢつと聞いて居た父さんは急に

「デビッドや、やめる時が來たよ。よさにやならんよ」

あんまり父さんの言葉が不意でしたので、デビッドはびつくりして

「父さん、何をよすの」

「こんな事皆んなだよ」

「こんな事つて！この家も」

「さうだ、いつまでもこゝにはゐられないのだ」

「どうして？父さん。僕、こんないゝとこないと思ふの。」

讀者から

神戸高津久子樣から「希望と生命の漲る初夏が、いつの間にか、私共の前に展開されました

わが敬愛する編輯部御同人樣にはお障りもなく、社會の風波の打寄する東都に於て、いよ〳〵婦人界の爲め、多方面にお働らき下さる事を深くお禮申し上げます。私共はこの新學期と共に、此處頌榮幼稚園に、十九名の新らしき姉妹を加へました。北は北海道、仙臺より、南は四國、九州臺灣、朝鮮の邊より集まつて來る處を見れば、必ずしも皆高尙な理想ばかり抱いて居るのではないと云へ、幼稚敎育の如何ばかり大切であるかを社會一般が認めた結果と喜びに堪へませぬ。私は過去數ケ月間、人格の調和なるものに就て考へて居りました。易々物云ひ、面白く心置きなく話す人は、卑俗的な事件に立ち入り、其の煩雜さに心を亂し易く、人を深く愛さんとすれば、偏狹になり易く、廣く愛さんとすれば淺薄になり易く、其の他粉擾に煩ふ程、此の人生の不調和なる事を思ひました。殊に學校の勉強や宗教と現社會の事情とは兩立して行かぬものかとこの上なき心淋しき事に思はれます。私は、御誌が婦人の政治上の智識の必要を叫ばれた時、身を退かるゝ默ひがしました。兎角婦人は本能的に安易を愛好し、出來る丈け廣く凡ての事に接して考へを碎いて見樣と思ふ念慮に乏しい事を思はせられました。」

記者「眞面目なお心を尊く思ひます。舊約の傳道の書には、人生のあらゆる矛盾を擧げて、最後に「事の全體の歸する所を顧べし、云く神を畏れ、その誡命を守れ、是は諸の人の本分なり」とありますが、心を潜めて考へれば複雜極まる世の渦中にも必ず中心があります。其處に達すれば、四面は自ら啓らけて參りませう。あなたの煩悶は其の中心を更らに鮮やかにする道程であらうと頼もしう思はれます。」

東京だより（十）

夜店から

▲もう、初夏が近づきました。都の夜の街を飾るものは夜店だらうと思ひます。不動尊や金毘羅さまや、お稲荷さまの縁日には必ずその近くの街路に、商人達が店を展げます。土べたに、板戸を置いて白い布などをかけては品物を並らべたり、一寸した臺をして並らべたりして、そして賣つてゐます。斯うした人を夜店商人と呼びますが、彼等は、年中、雨さへ降らなければ東京市中の何處かに出るのださうです。きつと何處かに縁日があるさうです。また縁日がない時には、毎晩夜店を出す町へいきます。縁日は二七とか三八とか呼びまして、毎月二七或は三八の數のつく日の夜にあります。大抵アセチリンの臭い瓦斯を灯してゐます。

▲夜店の商人は商買のあるのとないのとに限らず掃除錢として二錢ぐらゐ出してゐます。夜店を出すと、その街が賑やかに景氣よくなるとか言つて、其の街の人も歡んで出來るだけ保護を加へるさうです。夜店には世帶道具から骨董品、野菜、漬物、古着類、メリヤス類、金物、植木、切花、菓子など、人間生活になくてならぬものは悉く網羅されてゐます。大きい夜店にいけば、茶簞笥からチヤブ臺、長火鉢はもとより普通の簞笥まで出てゐますから、夜店ばかりを漁つてゝも新家庭の道具は結構揃ふと申します。

▲別に縁日などでなくて毎晩夜店の出る街は澤山ありますが、東京中の繁華な街とされてゐる銀座の通りも、夜な夜な青い柳の綠の下に夜店の灯の照り榮えて美しい所の一つでございます。此の頃は金魚屋も出てゐます。派手な浴衣の衿元から匂ひこぼれる若い女の白い項を、ほんのりと夜店の灯の照らすのも遠くはないでせう。（民子）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説

雜草（二）

茅野雅子

お久がこれ迄居間にしてゐた六疊と其隣りの三疊が國許から來た二人の起臥をする所に當てられた。田舍の大きな家に住むでゐた姑や姪になる可く狹苦しい思をさせまいとのお久の心づかひの結果であつた。硝子戸越しに庭の樹木の影が朝の日をうけて疊の上に落ちるやうなその部屋は、家中で一番奧まつた所にあつた。お久はその靜かな部屋を出て、表寄りの騷がしい三疊の方へ移ることは、勿論好ましく無かつたけれど、襖一重を隔てたやうな所だと、一寸横になり度いと思ふ時にも、年老いた人が自分に遠慮するやうでもよくあるまいと、そんなことも考へてのことであつた。どちらかと云ふと客の多い家で、親しい人等には自分の部屋へ通つて貰はなくてはならないやうなことも、屢々あることを考へると此三疊は餘りに狹すぎるし、粗末でもあつたけれど、障子を換へたり、襖を張直したり、額をかけたり、自分丈け使ふ書棚の小さいのを買つて來て其上に小さい人形を並べて見たりして、之迄より少しは居心地のよい部屋になつたことを樂しむだ。工夫さへすれば何うにでもなる。そんな考がお久をいよ／＼自信ふかくさせた。この新らしい生活、お久は口にこそ出して云はなかつたものゝ、全く新らしい生活が始まつたやうに思つてゐた。でも案じるより產むがやすい結果になりさうにも思はれた未だ遠慮が取りきれないやうな姑や姪に對してもなるべく此方から打とけるやうに心がけた。

『奎子さん、八重ちやんをつれて祖母さんのお部屋で遊んで來ませうね。』

お久は縫物を持つて奧の六疊へよく行つた。

子供は直きに馴れて了つて、小さい方の八重子は祖母の膝に腰をかけさせて貰ひ乍ら、片言交りに連絡も無く種々のことを言ひ出す。

『祖母ちやん。祖母ちやんとこのお芝居は今でも矢張り刀を持つた男の人が出て來るの、大阪やつたら出て來やへんの。』

この夏、國の方へ一週間程行つてゐた時、『鈴ケ森』を見てゐて終に泣き出したことを思ひ出したのである。

『さうかい。京都のお芝居では』

『京都では私行かへんの。せんど大阪の時、綺麗やつたはねえ姉ちやん。』

そんな子供の話がよく話題を拵へた。所在なさうにしてゐた姑に、何んな話をしやうかとつゝましく思ひ煩つてゐるお久に、話の緒を引出してくれることも稀ではなかつた。

十六

『子供達がゐるので何んなにいゝか知れないわ。お母さんだつて餘程氣がまぎれていゝでせう。』

お久は健次にもそんなことを私語いた。秋になつてから健次は仕事の方が少し忙しくなつた上に、大阪の方のある會社に關係したりしたので急に忙しくなつてゐた。勤め先きから直ぐ大阪の方へ行つて、電車に乘りおくれて泊つて了ふこと等も時々あつた。

『電報。』

夜ふけてからのこのけたゝましい聲に眠つてゐた姑のお民が心配して態々起きて來たりしたことも少くはなかつた。何か凶變でも無い限りは滅多に來ないものと思つてゐる老人に、『電報』の聲は可なり、怖ろしく響かないでは居なかつた。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「何でもないんです。又電車に乗りおくれたさうです。」

「さうかい。私は又吃驚してね、この頃夢見が惡いから、なんか凶いことでも起きたのかと思つて。」

さう云つて又寢間の方へ歸つて行く姑の足音をきゝ乍ら、お久は民を氣の毒に思はないでは居られなかつた。健次が國許の中學を卒へてから最う彼れこれ二十年近くになる。其間一年に一回は必らず國へは歸るものゝ、物の半歳と親の家にゐたことは無かつた。學校を出ると直ぐ職に就いてからは、何かの折に母が來て一週間位は滯在することがあつても、云はゞ客のやうな心持で、ほんたうに落ついては居られなかつた。それが愈々斯うして一所に住むやうになつても、健次は始終忙がしい許りで、充分の世話もして居られない。

「時候がいゝから、その中天氣のいゝ日に勝江に東山でも見せ乍ら、一日散歩しませう。」

等と口では云つてもさて今日は案内しやうといふやうな暇も無かつた。何うかすると一日顏さへ見合はさないやうな日がつゞく。ほんたうに私が良人に代つて、何かと親切にして上げなくてはならないのだが……

お久はそんなことを思つて心が重くなつて來た。それは知らず識らず自分の上に考が移つて來たからであつた。

「何うかしなくてはならない。」

貧しくなつてゆく自分の心を顧みては、お久はこの頃始終それを考へてゐた。中年になつて始めてわかるやうな官能の滿足も彼女を誘つてゐた。演劇、舞踊、殊に音樂の誘惑はお久に取つては殆ど打勝ち難いものゝやうに思はれた、小さい時に厭々ながら仕方なく習つた琴や三味線をまた取り出して、そつと鳴らして見ると、其時分想像さへしなかつた世界が眼の前に展けるやうに思つた。何處となく沈んだ調子の諧音を聞いてゐると身も心も溶けてゆくやうに物のあはれがしみてくる。さうしてぢつと音樂に聞き惚れたり、涙ぐましい迄の心になつて踊を見たりする心の底には、さうした感能の世界に縋りついて居なくては、一日も堪へられないやうな孤寂が巣喰つてゐた、母が五歳の時亡くなつてから繼母の手で育てられた苦しい日も、其苦痛から逃れやうとして畫を習ひそめた頃も、それから一番苦しかつた戀も、考へて見ると其頃の緊張した心持が却つて美しかつた。二人の子の母と迄なつた今は、何時迄も豊醇な戀愛の酒に醉つてゐることも出來なかつた。少しは望みを囑されてゐた自分の畫は何うだらう。お久は今更らのやうに焦々した心持ちになつた。

「えゝ、身體が二つあつたつて足りはしない。」

彼女は姑ばかりには係はつてゐられないやうな氣がして來た畫の方へ眞直ぐに進まうとする自分の頭の上へ急に落ちて來た眞黒な大きな影が姑であるかのやうにも思へた。お久は勇氣のないものゝやうに長い嘆息をした。

新刊紹介

□ルルドの靈窟　（野薔薇女史譯）

今から五十九年前佛蘭西の片田舍、ルルド町の一少女に、神々しい婦人が屡々現はれて、聖堂建立を囑せられ、彼の少女を使して寺院へ遣り司祭にそれを告げさせました。そして同時に萬病を癒すに足る一つの靈泉を與へられたといふ奇蹟があります。舊教ではルルドの靈窟として、今に人々の禮拜して措かぬ所であります。この靈驗を否定し得る人あらば、一萬法の賞を呈すと迄確言された佛蘭西の文學博士ベルトラン氏の原著を野薔薇女史の流麗な筆によつて譯されたものが本書であります。美しい佛蘭西の田舍の風光や、敬虔の念の深い農家の少女が詩のやうに浮んで居ります。そして幽邃の深山に、神の示現を見出す邊りは物語として見ても、快いものです。かういふ奇麗な事實を生んだ其の國民の信仰を羨ましく思はせるもので、傳道書としては勿論、興味深い讀み物としても、推奬するに足るものです。（定價四十五錢神田南神保町十六尚文堂發行）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

□天覽能　天皇皇后兩陛下には廿二日午前十時華族會館に行幸啓、新築能樂殿に臨御、左記の能樂仕舞を御覽遊ばされました。

△弓八幡　喜多六平太
△狂言　棒縛り　野村　萬作
△雲雀山　觀世　元滋
　一調仕舞
△夜打曾我　寶生　勝

□管絃樂を聽召さる　皇后陛下には古樂御奬勵の御思召を以て十九日午後一時御出門芝離宮に行啓、御先着の皇太子殿下、兩皇子殿下と御同列にて、管絃樂を聽召され、演奏奉仕、樂部員の諸員にそれ〳〵御下賜品を賜りました。

□王女子御誕生　臨時神宮祭主久邇宮多嘉王妃靜子殿下には、豫て御妊娠中の處、十八日王女子御分娩、御母子とも御健全に渡らせらるゝ趣承ります。來る廿四日には皇室誕生令の規定に依り、御名命式を行はせらるる筈でございます。

□李王世子の御前試合　陸軍士官學校を近く御卒業遊ばさるべき李王世子垠殿下には、卒業の當日、天皇陛下の御前にて卒業生二十名と共に擊劍の御前試合を遊ばされ、尚ほ同日擧行さるべき分列式にも、左翼の分隊長として式に臨まるゝ筈であります。同校卒業式は目下行幸奏請中でありますが、略二十五日に決定せらるべき模樣でございます。

◉英國兩陛下工業地御視察　英國皇帝及び皇后兩陛下には去る十八日を以て、北部工業地方を數週日に亘つて御旅行あらせられましたが、其の御旅行中は毎日多大の里程を進ませられ、多數の製造工場を視察し、兩陛下は數千の軍需品製造職工に謁を賜ひ、親しく物語りせられしと傳へられます。

◉露國聯立內閣成る　露國內閣は十四日外相ミリユーコフ氏の辭職と共に改造行はれ、社會民主黨より三名、國民社會黨より三名を入閣せしめて、こゝに聯立內閣を完成し、新內閣は飽迄も聯合國との協調につとめ、民主的根本義に於ける經濟的組織の整頓をなし、之が自治を鞏固にすべき旨等八ヶ條の宣言を發表致しました。

◉駐日大使決定　先般の大統領選擧に際し、ペンシルヴエニヤ州の民主黨選擧委員長たりしフヰラデルフヰヤのローランド・エス・モリス氏は、故ガスリー氏の後任として日本駐剳米國大使たるに決定し、近く公の任命あるべしと傳へられます。

◉白國公使任命　特命全權公使法學博士安達峯一郎氏は、十六日白耳義國駐剳を仰付られました。

◉食糧問題の研究に　農業經濟の泰斗なる農科大學教授橫井時敬博士は、來月五日橫濱出帆の天洋丸にて歐米視察の途に就くの筈でありますが、博士の今回の旅行は專ら食糧問題の研究であつて、歐洲大戰によつて各國の經驗しつゝある農業經濟、農政等を細かく研究して來らるゝ事でありますから、戰後の日本に裨益する處が多からうと存じます。

◉育兒九戒　內務省にては育兒上の參考たらしむべく、佛國里昻市結核病豫防院の幼兒養育に付、一般に期待せられし決議書を譯して今回各地方に送附しました。其の中特に參考となるべきものを擧れば、△『母乳哺育は生後八ヶ月迄の幼兒に相當なること、△生後一ヶ年以上母乳哺育を爲すは宜しからず、△母子、寢床はなる丈別にすること、△乳兒に普通食物を與ふる前には必ず牛乳或は同食少量を與へよ、△泣きても定刻以前に乳を與へざること、△乳瓶の管を長くせざること、△生後六ヶ月間は坐せしむるを禁ず、△外出の時の厚着は有害、△齒磨を用ふる勿れ』等の事であります。

◉小學校長の滿鮮視察　府下荏原郡內小學校長二十餘名は來月十八日神戶より出帆、約一ヶ月の旅程で滿鮮及び支那視察の途に上ることになりました。一行の視察費は一人平均百五十圓で、其の大部分は郡內の篤志家三名の負擔であると聞きます。

◉理化學普及の爲めに廿萬圓　文部省にては各府縣師範學校、中等物理化學實驗費として追加豫算中に廿萬圓を計上して置きました處、今回閣議の通過する處となりましたから、來る臨時議會に提出の筈であります。都合よく通過すれば、次年度から數年間續いて支出して、小學校にも多少の實驗費を供給する積りである由です。

◉懸賞唱歌の當選者　全國に亘つて懸賞募集中であつた文部省の高等小學唱歌の歌詞は四千七十餘九百三十名の內より審査の結果左の當氏が當選致しました。

「日本アルプス」　東京市　飯田　季治（賞金百廿圓）
「高山落日」　京都府　荒木　頁雄
「登山」　滋賀縣　前田　恒治（以上二人賞金百圓宛）
「海の日の出」　東京府　桑田　正
「みなさいり」　濱松市　眞田　範衞
「綾の松山」　札幌　堀澤　周安
「海」　東京學習院　古川喜九郎（以上四人賞金七十圓宛）
「機」　愛知縣第一師範　今泉浦治郎
「弟橘姬」　東京市　吉田三男也（以上二人賞金五十圓宛）
「雪中登山」　大阪府女子師範　射手矢貞三（賞金四十圓）

◉慈善大會　各地に散在する慈善團體の統一と連絡を計る外、その改善進步を促す爲めに新設せられた東京府慈善協會の第一回大會は、愈々二十二日午前九時より小石川の植物園內に開かれ、養育院、感化院を初めとして各種の慈善團體の役員及び保姆、看護婦女教師等の出席あり、被救濟者をして職業に從事せしむる時、多少の便宜を得る爲めに、工場主、職長並に警察官の來會をも乞ひ、非常に盛會でした。當日は被保護者の製作品の展覽の外に石黑男の「先帝陛下の御聖德の一端に就て」及び新渡戶博士の「慈善事業の眞髓」の講演があり、正午より午後二時迄模擬店を開き互に歡を盡しました。

◉茅ヶ崎の林間學校　社團法人白十字會にては來る廿六日午後二時より麴町區大手町私立衞生會に於て總會を開き、會務報告の外に結核大展覽會、諸家の結核豫防大演說會を開催する事になつて居ります、同會にては、右の外、茅ヶ崎小和田海岸に官有の松林地一千坪を借り入れ、同所に林間學校を設立する事になり目下新工事に着手して居りますが、全部の竣成は

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

七月上旬の筈であります。同校では當分滿八歲以上十三歲以下の虛弱なる子供を集め、定員五十人を收容する事になつて居ります。學課は普通の小學校と同樣で、在學三ヶ月以上になれば何時でも退校して市内の小學校に入る事が出來るやうになつて居ります。尚ほ寄宿舍には校母を置いて萬事親切に世話をさせる筈であります。これに要する費用は被服費を除いて一人分一ヶ月十五圓乃至十八圓、不足の分は同會の基金の利子及び會員の出資をもつてこれに充てる見込であるさうです。

◉玉井、湯川氏墜落慘死す

府下羽田なる日本飛行學校にては帝都訪問飛行をなすべく、午前六時五十分教師玉井清太郎氏は機を操縱して、芝浦埋立に着陸し再び低空飛行を行つて、三度飛行を試みたる時、東京日々新聞社囑託寫眞班員湯川寬三氏は空中撮影をなさんとして同乘を乞ひ、寫し終つて着陸せんとする際機に故障を生じ兩氏とも墜落慘死を遂げました。

◉壯丁列車衝突の判決

古岡木驛に於て起りたる壯丁列車衝突事件に對する判決は十五日決定し、當の責任者たる助役都谷森正休は懲役五年に、驛夫山本竹治は禁錮二ヶ年に處せられました。

◉靜岡の激震

十八日拂曉東京方面にも地震がありましたが、靜岡方面は殊に著しく、上下左右に震動する事七分の長きに達し、到る處に石垣、煉瓦塀の崩壞するもの夥しく、無慘なる二名の壓死者をさへ出しました。震源地は駿河遠江の國境に當る大井川上流の山岳であるさうです。

◉慈善角力

侯爵夫人大隈綾子刀自を會長とせる精神病者慈善救治會は精神病者にして貧困なるものを治療看護するのを目的とし岡田、片山、吳、青山、三宅、入澤、濱田、土肥、佐藤（達氏）北里、三浦の諸醫學博士夫人、吉岡彌生、山脇房子、嘉悅孝子女史等評議員となりて其の實を擧げて居られますが、此の二十五日、兩國國技館に於て慈善角力を興行し、收入の全部を擧て同會に寄附するとの事です。

◉活動の新取締

活動寫眞取締規則は警視廳保安課に於て全部を脫稿し目下審査中でありますが、遲くも七月から施行する運であると申します。右規則は約七十ヶ條から成り大體に於て少年館、青年館を設け、各館とも男女の席を劃然と區別し、尚ほフイルムを嚴重に檢査した上に各館に興行を許すことになる由です。

◉神近市子の控訴公判

昨年十一月葉山日蔭の茶屋に兇刃をふるひたる神近市子（三〇）の第一回控訴公判は、卅一日午前十時半東京控訴院に於て開かれ、裁判長は規定の通り詳細に涉つて事實の審問を終り、彼等の唱道せる、自由戀愛、經濟の獨立、自由尊重等は單に表面を飾る假面に過ぎず、要するに田夫野人の嫉妬喧嘩に過ぎず、されば第一審の懲役四年は最も輕き定量なりと思考する旨を述べて零時半閉廷。次回は六月十一日午前九時開廷の筈です。

會のいろ〳〵

▲大日本婦人教育會　既報の通り十九日午後二時より麹町區永田町閑院宮御本邸に於て春季總會を開催し、總裁閑院宮載仁親王妃智惠子殿下には名譽會長久邇宮妃俔子、梨本宮妃伊都子兩殿下と共に御臨場優渥なる令旨を賜ひ、閉會後は御庭園に於てジアグラー一座の奇術並に筑前琵琶の餘興に興を盡し、一同茶菓を賜つて五時過ぎ散會いたしました。▲慈善大音樂會　靈南坂教會婦人會主催にて二十六日午後一時半より神田青年會館に於て開催サルコリー氏の獨唱（ベスカトツー、デイ、ベツレ）澤田柳吉氏のピヤノ獨奏（ムーンライトソナタ）北村季晴氏のお伽歌劇（ドンブラコ）等ある由。▲女子音樂園演奏會　廿七日午前九時より市外下澁谷の常盤松女學校にて開催。尚別室にて音友會の春季總會をも開くさうです。

女學校だより

△女學部上棟式　燒失後豫て青山練兵場南西隅に新築中であつた學習院女學部上棟式は、十九日午前十一時より大迫院長、南部林野管理局長官、主任柴垣文部省技師長野博士、松本部長其他參列の上嚴かに擧行されました。

個人消息

▲矢島楫子　廿六日頃東京を出發し、伊勢に遊廓廢止の運動を試み、六月二日頃大阪に着、飛田遊廓反對運動を應援し、引き續き九州地方に巡回の筈。

▲津田梅子　糖尿病にて、聖路加病院に入院中。

公娼廢止運動費
本社宛寄附の分（一口金五錢）

田中芳子（二十二口）

累計七百十一口

編輯室より

▲公娼廢止運動は、大正十年迄引續いて居りますから讀者の皆樣方にも、續々と御寄附いたゞき度、なほ御知友をも御勸誘下さいまし。▲ふと記した編者の病氣に皆樣の御心配をいたゞき、誠に恐縮にぞんじました。もはやすつかり快くなりましたから、御安神下さいまし。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對祕密の下に、結婚調查、人物調查、財產調查、男女學生品行調查・裁判上の證據調查等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依賴者が至當と想はれる程の低廉な調查料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内（電話番町四五六六番）

人事相談所

婦人週報
（毎週金曜發行）

定價表

△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ヶ月（四部又は五部）金二十錢
△三ヶ月（十三部）金六拾錢
△半年（廿六部）金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料

△特等（表紙の二、四）金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付）金廿五圓
△貳等（色紙の表側）金廿貳圓
△參等（色紙の内側）金貳拾圓

注意

▲御注文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　福音印刷株式會社
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察 月、金、木午前及（木）午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ケ谷見附内）
電話番町 六二一番

東洋内科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

南湖院

電話ちがさき二番
神奈川縣茅ケ崎海濱（從停車塲半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察 土曜日 午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

大黒天印 赤 白

宮崎葡萄液

宮崎葡萄液ハ「アルコール」分ヲ含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニヨク下戸ニモヨシ御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料

大小數種化粧箱
商品切手調進仕候

宮内省御用達
東京市日本橋區通旅籠町
發賣元 甲斐産商店
電話浪花八七〇、八七一

耳鼻咽喉科專門

（入院隨時）

大野耳鼻咽喉科醫院

院長 大野喜伊次
東京京橋區南鍛冶町廿七
電話京橋一〇三五

◎産婦人科◎小兒科

宅診午前 往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫 吉岡彌生
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町二三五七

東京至誠病院

英語生徒募集

高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にして英語初歩より學ばれんとする者にも懇切に教授す（ピアノ個人教授の需めに應ず）

英語專門私立 櫻井女塾
本郷區彌生町三番地（電話下谷六八一五番）

新發見 クリーニング水 シミヌキ液

定價一瓶金廿五錢

當商會特製發賣の椿印クリーニング水は世間有り觸れたる從來の品とは全く其質を異にし當商會の技師長が多年歐米に於て實地研究せられたる苦心の結果發明したる無二の特効液にして其効力の偉大なること實に驚くべきものなり現に各國大公使館帝國ホテル等に於て愛用せられつゝあるのみならず内外朝野の貴顯紳士貴婦人向として上中流社會の各家庭を通して一日も缺くべからざる常用品たるに依て見るも如何に理想的にして且つ實際的クリーニン液たるかを證し得て餘りありといふべし

使用法 ブラシに着けて和洋服襟地等の汚みの局部を輕く摩擦すれば如何なる汚れも立所ろに撫消す如く無くなるべし、又絹其他の薄地のものには裏面より白き布片を當てゝ其上より摩擦すれば地質を損せず變色伸縮等の憂ひなし

注意 此液は火氣のある處にて取扱ふことは勿論平生も火氣ある處に決して置かぬ 御注意あり度し

東京麹町區有樂町一ノ四
製造發賣元 椿クリーニング商會
（電話新橋一九三四）

若し此液を用ても黴点がとれない場合は御一報次第早速店員参上可仕又此欄に貼用の口紙御持参の方には一割引にてクリーニングの御注文に應じます

産科、婦人科、小兒科

女醫 井出茂代
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

松下皮膚科醫院

○診察、午前、夜間
○京橋南八丁堀櫻橋際
（電 京 二二三一番）

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭衛生講習會

一、目的　家庭に必要なる衛生及衛生マッサージを教授す。
一、場所　赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部内。
一、期間　自毎月十六日至次月十五日月水金午時二時より四時迄。
一、講習料　金十圓也前納の事。
一、人員　十名を以て定員とす。
一、證許　講習修了者には修了證書を交付す。
一、特典　講習修了者は會員として隨意に傍聽又は研究する事を得。
一、主催　婦人矯風會東京部介。
一、講習主任　醫師藤井孝。
右御希望の方は至急赤坂區新町三丁目四十六番地婦人矯風會本部（電話芝一七五三）に申込まれたし。

個人教授　裁縫手藝

和洋裁縫、刺繍、造花、編物、袋物、摘細工
袋式形折紙並水引結方、縫細工、縮細工、絞染

高等、普通、速成、研究各科三ヶ月六ヶ月卒業
乙　普通師範科二ヶ年、甲　普通師範
高等師範科各三ヶ年卒業
入學隨時、詳細規則郵券二錢ヲ要ス

東京麴町區上六番町七番地
大妻技藝學校

弊店の特色

御召　織式　縞染
△古手物モ新規同樣ニ相成候
△出來期日ハ最モ正確且ツ迅速ヲ旨ト致シ候
△御註文ノ際ハ御一報次第早速店員御伺御用命に應ズベク候

小澁谷六百十八番地
（玉川電車通西郷邸前）
百足屋染物店
平田孫太郎

皮膚科
內科
小兒科

芝區三田豐岡町五十三番地
女醫
松木勝

肝油服用者之福音

最新式の軟質膠球劑絕對に臭氣もなく美味に飲める は此肝油球である

諸大醫家の賞
肝油球の特効
一身體の弱き人
かぜ引き易き人
腺病の人
夜盲の人
冷え性の婦人
肺の惡しき人
貧血にて艶のなき人
一油氣の少ない人

發賣元　東京市赤坂區田町五ノ一
工場　東京赤坂新町三ノ三十二
藥劑師　富谷宗吉藥局
電話芝六二八〇番
振替東京七〇八一番

――精力增進に今が肝油服用時期――

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社